

コミュニティ・スクール絹

小山市立絹義務教育学校 地域連携部 第37号 (令和3年10月発行)

実りの秋



農園ボランティア・大橋慶次さんのお骨折りで活動の幅が広がっている絹義務の農園では、つい最近まで野菜が収穫されていました。つむぎ学童横の畑と、西校舎前の畑は美しい畝が作られ次々に新しい作物が育ちました。



実が大きくなったら忘れず収穫すること。

必ず「はさみて切ること。」

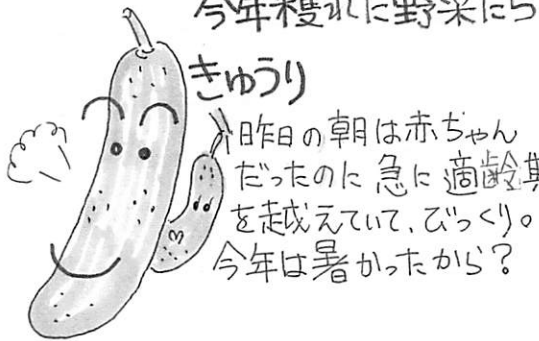
大橋さんの言いつけを守り、子どもたちは何度も畑に足を運びました。



下校時は、袋いっぱい枝豆を手に提げて、幸せの行列みたく嬉しくなりました。



今年収穫した野菜たち



きゅうり

昨日の朝は赤ちゃんだったのに急に適齢期を越えていて、びっくり。今年は暑かったから？



なす

つやつやの肌がうらやましい。



ミニトマト

丸い子 長い子いろいろあり。



ゴーヤ

わんぱく

さつまいも

ゴロゴロたくさん収穫しました。「収穫の喜び」を子どもたちは存分に味わうことができました。



あっ!! 大きい!!

とれた!



オクラ

小さいうちが「食べ頃」で大きくいしまうと固くなる。

(求む、調理法)

「カッチカチやぞ」子どもたちには人気があったそうです。

きれいに整えられた新しい畝には、ほうれん草の種がまかれました。絹義務にまた楽しみが増えました。

茶道クラブ



4・5・6年生には、年間8～10回程度、「クラブ活動」という特別活動が位置づけられています。その中の1つ、「茶道クラブ」には、外部講師として、絹地区にお住まいの秋山恵子さんが教えてくださっています。お弟子さんの持田むつ子さん・石川鮎子さん・植木久子さんも来てくださり、一時間の活動ながら、充実しています。

表千家です。

背まじの伸びる
凜とした空気



茶碗を回して。

柄を正面に向けて、はい、よく見ましょう。



「お茶を飲む」だけのこととあなどるなかれ。そこには深い「わびさび」の世界が……

たどり着くにはちと遠いところでのビギナーたち。

先日は、かけ軸の見方を教わりました。

「見る」ことにも作法がある!! みんな、なかなかよくできていました。



「水を掃すれば月手にあり」



水をすくったら月が手の中にある!! なんて素敵なの!!



「コロナ禍での活動対策として、物の共有をしないよう、人数分の道具を用意して下さっています。」

資源物回収 12/4(土)実施予定

小雨決行
予備日
12/11(土)

昨年度は1回きりの実施でしたが、今年度は2回目を行います。
収益金は、児童生徒の学校生活の安心・安全のために利用します。
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



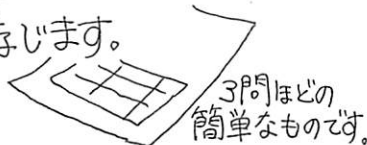
寒くなりましたが



花を夢見てがんばります。

アンケート

学校評価アンケートを絹公民館に設置いたしました。ご回答のご協力をいただければ幸いです。



3問ほどの簡単なものです。

小山市立絹義務教育学校

〒323-0155 小山市福良2240-1
電話 0285(49)0141
ファックス 0285(49)2764
E-メール kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

前期課程教頭

海老沼真弓